

「Joy of Learning(学習の喜び)」を目指して

開倫塾
塾長 林明夫

1. はじめに

- (1) 教育の目的とは「よく生きる」ためと考えます。
- (2) 「よく生きる」とは「多様な選択肢をもった人生を歩むこと」だと考えます。
- (2) 学ぶ、学習するに際しては、「Joy of Learning,学習の喜び」が大切と考えます。

2. <不安>開倫塾の塾生、特に、受験間際の塾生の多くは、入学試験に落ちるのではないか、入学を希望する学校に合格できないのではないかというなかば不安な気持ちを持って学習しています。どうか合格スレスレまで来た人は何としても「合格安全圏」に入りたいと思い学習しています。

- (1) 「不安」「不安な気持ち」を取り除き、「合格安全圏」に入りたいために、開倫塾に入塾し、開倫塾はじめ全国の学習塾、予備校で学習をしている方も多いいえます。
- (2) <安全>まずは合格しないのではという「不安」から脱却させること、次に、「合格安全圏安全」を確保させること。これが開倫塾はじめ全国の学習塾に課せられた社会的使命・社会的責任、存在意義と考えます。
- (3) 「Joy of Learning (学習の喜び)」は、この「不安」から脱却し、「合格安全圏」を確保してはじめて考えられます。

3. 「学習の喜び」

- (1) 「愛情、チームワーク」「学校や開倫塾などで、先生や友達と一緒に学習できて嬉しい、共に学べて幸せ」であるという「愛情・チームワーク」が「Joy of Work(学習の喜び)」の第一歩です。
- (2) 「尊厳」
 - ①学習が進めば進むほど「理解」が進みます。理解した内容を「定着」させ、試験でよい点数が取れ、社会でも使える、「応用」ができるようになるとようになると「自信」がもてます。
 - ②学校や開倫塾などでも「高い評価」が得られます。
 - ③みんなから「賞賛」されます。
 - ④よい「評判」を得ることができます。

⑤このようなことが重なると自分のことを「尊ぶ」ことができるようになります。

- ・「尊厳」をもつことができます。
- ・「尊厳をもって学ぶこと」が Joy of Work(学習の喜び)」の第二歩目です。

(3) 「自己実現」さらに学習を深化させることにより

① 「自己の可能性の追求」することができるようになります。

② 「困難な問題への挑戦」することもできます。

③ 自分自身の「能力の向上」も図れるようになります。

④ このように学習を進化することで「自己実現」が図れます。

(4) 学習により「自己実現」を図ることが「Joy of Learning (学習の喜び)」の第三步目、最終段階です。

(5) この三段階の「Joy of Learning (学習の喜び)」は、学校や開倫塾などでの教育、社会での教育、家庭教育など様々な教育の場で、同じ目的で、志を同じくする人々と共に学ぶときに、得られるものと考えます。

4. おわりに

(1) 開倫塾など学習塾の全体で、また開倫塾など学習塾の一つ一つの校舎で、どのようにしたら塾生を「不安」から脱却させ、「合格安全圏」を確保させ、「学習の喜び」の三段階を歩ませることができるか、塾生、保護者とともに一緒に考えていきましょう。

(2) マズローの欲求段階層図とデミングの Joy of Work の考え方を参考に、「学習の喜び」とは何かを考えてみました。

